

2011.7.27(水)利用者の重度化対応についての研修 グループ名【 美男 美女 】

検討課題から話し合いによって抽出された疑問点など

- ・ 身体的に重度にならないために、どのような取り組みをしていますか。
- ・ 身体的な機能の(向上)だけにとらわれず、利用者様^の急持ちと^の維持
どう寄り添っていきはいいのち。

解決策や今後の課題

重度化しないために

- ・ 自分でしろとする 意欲のある方の急持ちを大切にして、身寄り、リハビリも兼ねて、できることはしていただく。
← 職員間で情報を共有し、意欲の低下にも気が付かなければいけない。
- ・ 職員が視野を広く持ち、危険を未然に防ぐ。
- ・ 職員の介護スキルを上げていくことも大事。
- ・ 居室内でセンサーマット等を使用することで転倒等の危険を防ぐことはできるが、それだけに束縛することはしないように。
- ・ できる、できないことを把握し、センサー方式を利用しケアプランの見直し、ケアプランの内容を職員が理解し、実行していくことが大切。
- ・ 職員としてはよかれと思って体操等に言っているも、利用者様にとっては苦痛で、無理強いとなってしまうこともある。本当の急持ちを解けるような信頼関係を築き、心に寄り添うことが大切。

2011.7.27(水)利用者の重度化対応についての研修
グループ名【 寄り添い 】

検討課題から話し合いによって抽出された疑問点など

○不眠

- ・対象の入居者の不安に、どう向き合うか
- ・改善が見られず、対応に限界がある場合
どうしていくか。

○転倒

- ・予防のやり方と、その問題点

解決策や今後の課題

- ・寄り添いのケアを。
- ・維持に向かわざるを得ない。

- ・拘束と予防の線引きが困難。
- ・早期発見と、早期の対応の方法、
確立が現実的。

2011.7.27(水)利用者の重度化対応のついで研修
グループ名【 3 】

検討課題から話し合いによって抽出された疑問点など

- ① 重度化の度合いが人それぞれで対応しにくい点
- ② 言ってはいけないことを職員が言ってしまう。
ストレスを感じさせて重度化につながっていないか？
- ③ 利用者の気持ちになるにはどうすればいいか？
- ④ 利用者の問題行動に対して、その場しのぎの
対応になっていないか？

解決策や今後の課題

- ① ケアプランを実現する様に個々の対応をしていく
- ② 言ってはいけない事を言う人に注意をする勇気をもつこと
自分の都合で仕事をしてはいけない。
- ③ 重度化になっても心が生きている。どんな人でも心が動く
ように真心から接する機会を作る。
- ④ 申しあくり、話しあいで解決。みんなでとり組むという
意識を共有する。

2011.7.27(水)利用者の重度化対応についての研修
グループ名【 4-2 】

検討課題から話し合いによって抽出された疑問点など

4. 仰利用者の動作が状況によって違う
5. 夜間 二人同時に介助はやり方が違う場合

解決策や今後の課題

4. 職員が忙しい時ほど、仰自分で動けていた方がよいので、無理にやらしめようとすると仰の動作が固くなるので、その程度(リスク管理のみ)見守りが必要。
即座
※個別に1対1でサポートしている所、調べてみる。
1人に聞ける時間、深さを検討する。
(自分利用者だつたら...と基本は)
5. 職員が余裕がなくなる原因でよいので、日頃の積み重ねが大事。
※情報や積み重ねが大事(職員が13人場面)

2011.7.27(水)利用者の重度化対応のついで研修 グループ名【 5 】

検討課題から話し合いによって抽出された疑問点など

精神的行動障害に必要 各施設で検討したい問題、困難事例を掲げて頂く。

- ・徘徊
- ・介護拒否
- ・便コントロールの問題
- ・自分に注目がほしいから走る症状
- ・異食
- ・口に食べ物を含んではい咀嚼、嚥下がつかない
- ・収集癖がある
- ・入浴拒否
- ・動作指示がわからない
- ・潔癖症

等各施設さんへの人の問題提示

以上の中から特に収集癖と介護拒否について掘り下げて話し合う場とする。

解決策や今後の課題

収集癖については 持っている物を撤去しても問題解決にはつながらない。
 対応策として 本人専用の物を設置する。
 収集自身に本人様満足させる
 汚染したペーパータオルを捨てるだけ。トイレ流しは。トイレの故障の原因となり
 トイレに鍵をかける。興味ある他の物を渡す。
 “さみしい”気持ちの行動ではないか → 家族に話し面会の回数を増やして
 <収集癖の「原因」はどこにあるか追求> (紙に大車=お気持)
 汚染や木屑をみせるとは気持ち 昔紙は大切は物であったり気持ち
 (トイレペーパー、ペーパータオルの場合)

介護士にとって原因を探る } 仕事である
「70%意識」 ← この認識は日々同じ利用者
 汚染物を処分し処分 } 様と接していると わかってくる

介護士は常に技術の向上をめざす。
 職員の内なる気持ちや認知度の利用者様にも伝わる(好む取組嫌、強要する)
 職員はコミュニケーションを促し、モチベーションをあげるためにも必須である
 報告、連絡、相談をおこなう。問題と対応はわかせる身が、重度化防止に
 つながる。対応策はわからないので次々別の手段を君之無理をしない、せめて

介護が必要。目標を統一し異常行動は認知症という病が起きていると認識する専
 認知症ケアには正当な方法 正論は常に前向きな気持ちを取り組むべきものである。